

D51 形蒸気機関車

日本国内で製造された機関車の中で最多の 1,115 両が製造された貨物用蒸気機関車。

日本全国の幹線、亜幹線で活躍した。当機は初期型で煙突、給水暖め機、砂箱が縦一列につながった姿をしていることから「なめくじ」の愛称を持つ。

製造初年 1936 年
 製造両数 1,115 両
 車両データ 全長 19,730mm 全幅 2,936mm 全高 3,980mm
 自重 70.70t (機関車) 16.72 t (炭水車)
 軸配置 1 D1 動輪直径 1,400mm
 最大動輪周馬力 1,280ps
 最高運転速度 85km/h



DF50 形ディーゼル機関車

DF50 形は幹線用として日本で最初に国産化されたディーゼル機関車 DD50 形の後継機として 137 両製造された。エンジンはスイスの SULZER 社とドイツの MAN 社から技術提供を受け国内で生産された。

当形式は電気式ディーゼル機関車の標準形となり、北海道以外の亜幹線で優等列車を牽引した。

製造初年 1957 年
 製造両数 137 両
 車両データ 全長 16,400mm 全幅 2,932mm 全高 3,980mm
 自重 78.00t 軸配置 B-B-B
 機関形式 SULZER 系 出力 1,060ps/800rpm×1 基
 MAN 系 出力 1,200ps/900rpm×1 基
 主電動機 SULZER 系 MT48 100KW×6 台
 MAN 系 MT48 110KW×6 台
 最高運転速度 90km/h



DD13 形ディーゼル機関車

日本で初めて量産された入換用ディーゼル機関車。蒸気機関車が主力だった貨物ヤードのディーゼル化に貢献した。

製造初年 1958 年
 製造両数 416 両
 車両データ 全長 13,600mm 全幅 2,846mm 全高 3,772mm
 自重 56.12t 軸配置 B-B
 機関形式 DMF31S
 出力 370ps/1300rpm×2 基
 最高運転速度 70km/h



DD16 形 300 番台ディーゼル機関車

ローカル線用の小型ディーゼル機関車 DD16 形をベースに改造された除雪用機関車。

車体の前後に大型のラッセルヘッドを装備している。

製造初年 1961 年
 改造年 1983 年
 改造両数 4 両
 車両データ 全長 35,840mm 全幅 3,999mm 全高 4,077mm
 自重 118.00t 軸配置 2-2-B-B-2-2
 機関形式 DML61Z
 出力 800ps/1330rpm×1 基
 最高運転速度 75km/h



DE50 形ディーゼル機関車

量産化に成功していた DD51 形は機関と液体変速機を 2 組搭載していたため保守に手間と費用がかかっていた。

このため DD51 形の後継機として大馬力機関と変速機 1 組を搭載した当機が開発された。

その後は投入予定線区の急速な電化などにより、量産化されることなく 1 両のみの製造にとどまった。

製造初年 1970 年
製造両数 1 両
車両データ 全長 15,950mm 全幅 2,967mm 全高 3,925mm
自重 70.00t 軸配置 A・A・A-B
機関形式 DMP81Z
出力 2,000ps/1500rpm×1 基



DD51 形ディーゼル機関車

幹線用蒸気機関車の置き換えによる動力近代化を目的に量産された客貨両用の大型ディーゼル機関車。

最盛期には日本全国の幹線、亜幹線で見ることができた。

製造初年 1962 年
製造両数 649 両
車両データ 全長 18,000mm 全幅 2,971mm 全高 3,956mm
自重 84.00t 軸配置 B-2-B
機関形式 DML61Z
出力 1,100ps/1500rpm×2 基
最高運転速度 95km/h



キハ 58 形、キハ 28 形気動車

キハ 58 系列として日本で最多数が製造された急行用気動車。

キハ 58 形、キハ 28 形ともほぼ同じ外観をしている。

製造初年 1961 年
製造両数 1,823 両
車両データ 全長 21,300mm 全幅 2,930mm 全高 3,925mm
自重 38.0t (キハ 58) 34.3t (キハ 28)
定員 84 名
機関形式 DMH17H
出力 180ps/1500rpm×2 基 (キハ 58)
180ps/1500rpm×1 基 (キハ 28)
最高運転速度 95km/h



キハ 58



キハ 28

キハ 33 形気動車

客車にエンジンを積んで気動車に改造した車両。
主に地方ローカル線で使用された。

製造初年 1977 年
改造年 1988 年
改造両数 2 両
車両データ 全長 20,000mm 全幅 2,930mm 全高 4,028mm
自重 34.0 t 定員 124 名
機関形式 DMF13HS
出力 250ps/1900rpm × 1 基
最高運転速度 95km/h



キハ 52 形気動車

急勾配用にエンジン 2 基を搭載する気動車。
主に山間の地方ローカル線で使用された。

製造初年 1958 年
製造両数 112 両
車両データ 全長 21,300mm 全幅 2,930mm 全高 3,925mm
自重 35.5t 定員 88 名
機関形式 DMH17C
出力 180ps/1500rpm × 2 基
最高運転速度 95km/h



キハ 181 形気動車

非電化急勾配路線への投入を目的に製造された特急用気動車。

製造初年 1968 年
製造両数 158 両
車両データ 全長 21,300mm 全幅 2,903mm 全高 3,955mm
自重 44.6t 定員 52 名
機関形式 DML30HSE
出力 500ps/1600rpm × 1 基
最高運転速度 120km/h



DD15 形ディーゼル機関車

DD13 形ディーゼル機関車をベースに製造された除雪用機関車。前後にラッセルヘッドを装備している。

製造初年 1961 年
製造両数 50 両
車両データ 全長 21,200mm 全幅 2,926mm 全高 3,880mm
自重 62.00t 軸配置 B-B
機関形式 DMF31SB
出力 500ps/1500rpm × 2 基
最高運転速度 70km/h



入換動車(10 トン車)

駅構内貨物線などでの貨車入換用として 1950 年代、主要駅や車両工場に配備され使用された。

分類上は車両としてではなく機械として扱われる。

製造初年 1950 年
製造両数 不明

